

1 この科目の構成について

教 科	保健体育	科 目	体 育	単 位	2単位
対象コース	カレッジコース	対象クラス	3年1組～6組（男子）		
使用教科書	なし				
使用副教材	なし				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学 習 目 標	—この科目を学習して何を身に付けてほしいのか—
①運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう自ら進んで運動するとともに、公正、協力、責任や健康、安全に留意する態度を身に付けます。 ②自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して、活動の仕方を考え工夫する力を身に付けます。 ③各種の運動技能や体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付け、運動の技能や体力を向上させます。 ④現代社会におけるスポーツの意義や必要性を理解し、豊かなスポーツライフを実現するための知識や方法を身に付けます。 人間の本能でもある「動く楽しさ」に「分かる楽しさ（思考判断・知識理解）」「できる楽しさ（運動技能）」「仲間と関わる楽しさ（関心意欲態度）」が加わることで、運動の楽しさや喜びはさらに膨らみます。運動を科学的に理解し実践することにより、その楽しさを十分に味わうことができるよう自ら進んで運動しようとする意欲を持ちましょう。そして、生徒諸君が生涯にわたり運動に親しみ、豊かなスポーツライフを実現できるように、そのための基礎を作るのが「体育」の授業です。	
学 習 内 容	—この科目で学習する大まかな内容—
（１） 集団行動 （２） 体づくり運動（A,体ほぐしの運動 B,体力を高める運動） （３） 新体力テスト （４） 球技 ①バスケットボール ②ソフトボール ③サッカー ④テニス ⑤バドミントン ⑥バレーボール （６） 体育理論	
学 習 方 法	—この科目を学校と家庭でどのように学習すればいいのか—
（１）学校・体育の授業では誰もが運動の楽しさを味わうことができます。そのためには自ら進んで運動しようという意欲が大切です。 ・何かの「つまずき」によって生じた運動に対する苦手意識は、その原因を探ることで解決できます。同様に体育の授業では、自分の仲間の「つまずき」の原因＝「課題」を見つけ出そうとする意識が大切です。自分にとどまらず仲間の心や体の状態に目を向け、課題の解決方法を工夫しましょう。 ・体育の授業は学校指定の体育服を着用します。使用後は洗濯をして衛生面に配慮してください。 ・授業はチャイムと同時に開始しますので、着替え及び活動場所への移動は休み時間の内に完了してください。 ・見学者は授業前に担当者に申し出て指示を受けてください。 ・貴重品の管理をしっかりと行ってください。 （２）家庭・各競技における大会に関心を示し、マスメディアを活用することでよりハイレベルな技能を自分なりに取り入れてください。	

3 この科目の評価方法について

評 価 方 法	—何をを使って評価するのか—
○行動観察・・・毎時間の行動を観察します。怠けて動かなかったり、服装などのルール違反は平常点評価が減点されます。 ○実技試験・・・単元ごとに実技の試験が実施され実技点として評価します。 ○授業参加・・・出席点として評価します。 1年間の評定は、実技試験、平常点を参考に総合的に判断して決定します。	
評価における定期考査の割合	
50 %	

4 この科目の評価の観点について

評 価 の 観 点	—この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか—
（１）関心・意欲・態度 ・運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしているか。 ・個人生活や社会生活における健康、安全について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしているか。 （２）思考・判断 ・生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指して自己や仲間の課題に応じた運動の取り組み方や健康の保持や体力を高めるための運動の合理的な行い方や計画的な仕方を考え、工夫しているか。 ・個人生活や社会生活における健康、安全について課題の解決を目指して考え、判断し、それらを表しているか。 （３）運動の技能 ・自己の能力と運動の特性に応じた技能を高め、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、体力を高めるための運動の合理的な行い方を身につけているか。 （４）知識・理解 ・運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための理論を理解しているか。 ・個人生活や社会生活における健康、安全について課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解しているか。	

年間学習計画				—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—				重視する評価の観点			
期	月	学 習 の 項 目		学 習 の 内 容				関	思	技	知
学 期	4	・オリエンテーション ・集団行動 1 姿勢（気をつけ、休め） 2 方向変換 3 集合、整とん、番号、解散 4 列の増減・開列 5 行進 6 礼 ※マスゲーム ・体づくり運動 A：身体ほぐしの運動 ・ペアストレッチ ・リズムに乗った運動 ・道具を活用した運動 B：体力を高める運動 ・腕立て伏せ ・腹筋 ・背筋 ・スクワット ・馬跳び ・倒立 C：柔軟運動 ※通年の準備運動で行います。		・活動目標・年間計画を知り、授業の進め方を理解します。 道徳教育を実施 ・集団行動の主な行動様式を身に付けます。 ・集団の約束や決まりを守って行動します。 ・機敏・的確に行動します。 ・互いに協力して自己責任を果たします。 ・リーダーの指示に従って行動します。 ・安全に留意して行動できるようにします。 ・演技を構成し、発表します。 ・体づくり運動に対する関心や意欲を持って互いに協力して運動します。また、健康や安全に留意して運動します。 ・自分の体力や生活に応じて、体ほぐしの行い方と体力の高め方を工夫できるようにします。 ・自分の体力や生活に応じて、体力を合理的に高めるための運動ができるようにします。 ・体ほぐし運動の必要性や運動の行い方、心身への構成の仕方を理解し、知識を身につけます。				●	●	●	●
	5	・マット運動（倒立） 1 静止技 2 帮助倒立 ・新体力テスト 1 握力 2 立ち幅跳び 3 上体起こし 4 長座体前屈 5 反復横跳び 6 シャトルラン 7 ハンドボール投げ 8 50m走		・いろいろな運動課題に挑戦します。 ・規定の課題にグループで取り組みます。 ・実技試験を行います。 自分の体力・運動能力の現状を確かめるために実施するものです。 ・体力測定に意欲的に取り組み、すすんで測定してください。 ・測定の方法や測定の仕方を理解してください。 ・測定の結果を踏まえて自己の能力を高めるよう努力してください。 ※3年次は新スポーツテストの結果は実技試験の評価となります。				●	●	●	●
	5	・バスケットボール 1 チェンジオフ～ 2 フェイク 3 ゲーム（運営と審判法）		・動きを読まれないような複合的なパターンを身につけます。 ・ゲームにより各技能の確認をします。 ・適切な判定が下し、ゲームをコントロールできるようにします。 ・実技試験を行います。				●	●	●	●
	6	・ソフトボール 1 スローイング・キャッチング		・シートノックで、ゴロ、フライの捕球を練習します。				●	●	●	●
	7	2 ピッチング 3 バッティング 4 ゲーム		・ウィンドミルでピッチングの練習をします。 ・ゲームによって各技能の確認をします。 ・実技試験を行います。				●	●	●	●
2 学 期	8	・テニス 1 ラケットの握り方 2 サービス 3 ストローク 4 ボレー 5 簡易ゲーム（審判法）		・ウエスタングリップ、イースタングリップ、コンチネンタルグリップを身につけ、動きの中で合った握り方を選択できるようにします。 ・サービスの基本技術を身につけ、サービスコートに入れられるようにします。また、球出し練習で、グラウンドストローク、ボレーを身につけます。 ・ダブルスのゲームをします。 ・実技試験を行います。				●	●	●	●

年間学習計画				—この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか—				重視する評価の観点			
期	月	学 習 の 項 目		学 習 の 内 容				関	思	技	知
3 学 期	9	・サッカー 1 パス 2 ドリブル 3 ゲーム		・ゲーム中心に行い、ゲームを通して、ドリブル、キック、シュートなどの基本技術身につけさせるとともに、ゲームの進行や、審判法についても学びます。 ・実技試験を実施します。				●	●	●	●
	10	※雨天時は体育館でバスケットボールの試合。									
	11	・バレーボール 1 パス 2 スパイク 3 サーブ 4 ゲーム		・セッターとのコミュニケーションをとり、スパイクを打ちます。 ・フォーメーションからＡクイックのタイミングを身につけます。 ・変化球サーブの技術を身につけます。 ・実技試験を行います。				●	●	●	●
	12	・バドミントン 1 ラケットの握り方 2 サービス 3 ストローク 4 フライト 5 スマッシュ 6 簡易ゲーム		・イースタングリップ、リストスタンド、サムアップを身につけ、動きの中で合った握り方を選択できるようにします。 ・６種類のストロークからのフェイントショットを身につけます。 ・展開の中でスペースを考えながらフライトの選択をし、確実にシャトルをとらえる技能を身につけます。 ・ダブルスのゲームを行います。 ・実技試験を行います。				●	●	●	●
	1										
	2	・ダンス（基本的なステップ） 1 現代的なリズムダンス		・リズムの特徴をとらえ、変化とまとまりをつけてリズムにのって全身で踊ります。 ・３学期を通して、準備運動の一環として実施します。 ・実技試験は実施しません。体づくりの運動として評価します。				●	●	●	●
	3	・倒立（卒業試験）		・１学期より継続して練習をします。定期的に記録会を実施し、８０％以上の達成率を目指します。				●	●	●	●